

平成25年7月〇〇日

学校長殿

株式会社浜銀総合研究所

法務省委託「中学校における法教育の実践状況に関する調査研究」へのご協力をお願い

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび弊社では、法務省から委託を受け「中学校における法教育の実践状況に関する調査研究」を実施させていただくこととなりました。

つきましては、貴校に、是非本調査研究にご協力いただきたく、アンケート調査をご送付させていただきました。

この調査は、全国の中学校から5,000校を抽出し、新学習指導要領実施後の平成24年度における各学校での法教育の実践状況等を把握し、今後の更なる法教育の充実・発展に役立てるためのものです。なお、学校名が特定可能な形で結果の公表は致しません。また、調査で得た情報は、上記の目的以外で使用することはございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、教務主任など、貴校における法教育の実践状況について最もよく把握されている方にご回答いただければと存じます。また、ご記入いただいた調査票は、8月30日（金）までに同封の返信用封筒にてご返送いただければ幸いです。何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

敬具

【本件に関するご照会は以下にお願いいたします】

株式会社浜銀総合研究所

地域戦略研究部（担当：有海・加藤（学）^{ありかい}）

電話：045-225-2372 / FAX：045-225-2197

Mail：arikai@yokohama-ri.co.jp

<法務省からのお知らせ>

法務省では、法教育に関する様々な取組を進めています。その取組のひとつとして、学校等からの依頼に応じて、中学生や教員の方などを対象として、関係機関の職員を派遣し、法教育授業を実践していますので、ぜひご検討ください。

【法教育授業のお申し込み、お問い合わせは】housei06@moj.go.jp

また、本年秋頃には、法教育に関する論文の募集を行います。優れた論文に対して、賞状及び賞金が贈呈されますので、奮ってご応募ください。

【詳しくはホームページへ】<http://www.moj.go.jp/housei/shihouhousei/index2.html>

お送りした調査票に関するご説明とお願い

■調査内容・調査事項について

○昨年度（平成 24 年度）における法教育の実践状況について、以下のような点から把握することを目的とした調査です。なお、各教科等における法教育に関する内容がどのようなものであるかについては、調査票の中でお示ししています。

◇教科別・学年別の法教育に関する内容の実施時間数

※「1 学級あたりの年間実施時間」（クラスにより状況が異なる場合はその平均値）をお答えいただく項目です

◇教科別・学年別の法教育に関する学習について、それぞれ充実させたか否か

※「とても充実させる」から「まったく充実させなかった」までの5つの選択肢からお答えいただく項目です

◇教科別・学年別の法教育に関する学習について、実施した内容・充実した内容

※記述式の回答によりお答えいただく項目です

◇教科別の法教育に関する学習について、教材使用の状況

※教科等別に使用している教材の種類や要望についておたずねしています

◇教科別の法教育に関する研修会等への参加状況

※教科等別に校外で開催される研修会等への参加状況や要望についておたずねしています

◇法律家（裁判官、検察官、弁護士など）や関係機関等との連携の状況

※連携先がある場合には、教科等別の連携先や連携内容、満足度等についておたずねしています

◇法務省等が作成した教材使用の状況

※法務省等が作成した教材の使用状況や、課題・要望等についておたずねしています

◇教職員向け研修会等の状況

※教職員向けの研修会等の実施状況や、課題・要望等についておたずねしています

◇法教育の取り組み状況全般についての満足度、ご意見・ご要望

■実施方法について

○調査票では、上記のとおり貴校における法教育の実施状況についてたずねております。回答にあたっては、教務主任の方など、学校全体の教育課程についてお詳しい方にご担当いただければと考えております。

○ただ、各学級で実施されている、教科別・学年別の細かい実施状況などについては、おひとりの方がすべてを把握されているわけではないと思われまので、ご回答いただくにあたりましては、以下のような方法にて実施をお願いできればと存じます。（必ずしもこのように実施しなければならないというものではございません。）

◇教科別・学年別の実施状況等については、それぞれ状況を把握されている方に調査票を回付していただくか、内容についてお問い合わせいただくなどしてご回答ください。

※教科等別としては、「社会科（公民的分野）」「音楽科」「美術科」「技術・家庭科」「特別活動」「総合的な学習の時間」についておたずねしています。

◇法律家や関係各機関等との連携状況や教材使用の状況、教員向け研修等の状況に関し、課題認識やご意見・ご要望等については、学校全体の状況に関して、教務主任の方などが代表してご回答ください。



■返送方法について

○ご回答いただいた調査票については、弊社よりお送りさせていただいた返送用封筒に折りたたんで入れていただき、郵便ポストにご投函ください。（郵便事業株式会社に料金受取人払いの手続きを済ませております。切手等を貼付いただく必要はございません。）

○お手数ですが、平成 25 年 8 月 30 日（金）までにご投函いただければと存じます。

法務省委託

中学校における法教育の実践状況に関する調査（案）

ご記入にあたってのお願い

<目的>

平成24年度から、各教科等において法教育の内容の充実が図られた中学校学習指導要領が実施されています。この調査は、全国の中学校を対象に、平成24年度における法教育の実践状況等を把握し、今後の更なる法教育の充実・発展に役立てるためのものです。

<記入方法>

それぞれの質問について、学校の状況に最も近いものを選んで、あてはまる番号・記号に○をつけるか、空欄に回答を記入してください。

<情報の取り扱い>

調査で得た情報は、上記の目的以外で使用することはありません。また調査結果の公表に際して、学校名等を特定されることのないように十分な対策を講じます。

<問い合わせ先>

株式会社浜銀総合研究所

地域戦略研究部 担当：有海・加藤学^{ありかい}

T E L : 045-225-2372

E-mail: arikai@yokohama-ri.co.jp

1. 学校に関すること

(1) 貴校の所在地についてお教えてください。

都・道・府・県

市・区・町・村

(2) 貴校が設置されている市区町村の人口規模について、あてはまる番号ひとつに○をつけてください。(政令指定都市の場合には、行政区の単位でお考えください。)

1. 1万人未満	2. 1万人以上3万人未満	3. 3万人以上5万人未満
4. 5万人以上10万人未満	5. 10万人以上20万人未満	6. 20万人以上30万人未満
7. 30万人以上50万人未満	8. 50万人以上	

(3) 貴校は、国立・公立・私立のいずれですか。あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

1. 国立	2. 公立	3. 私立
-------	-------	-------

(4) 貴校の教職員数（校長、教頭を除き、非常勤の教員も含む）について、あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

1. 20人未満	2. 20人～29人	3. 30人～39人
4. 40人～49人	5. 50人以上	

(5) ご回答いただいている方の役職について、あてはまる番号ひとつに○をつけてください。(複数の方が回答を担当された場合には、主たる担当者の役職についてお答えください。)

1. 主任教諭（教務主任、学年主任、生徒指導主任等）	2. 管理職（校長、教頭、副校長等）
3. その他の教諭	4. その他（具体的に：)

2. 法教育に関する学習指導の状況

(1) 社会科（公民的分野）での学習指導

社会科（公民的分野）について、学習指導要領にはいくつかの観点から法教育に関する内容が示されています。社会科における法教育に関する学習指導の状況に関し、それぞれについてお答えください。

<学習指導要領での記載内容>

私たちと現代社会—現代社会をとらえる見方や考え方 ○社会生活における物事の決定の仕方 ○きまりの意義 ○対立と合意、効率と公正の理解 ○契約の重要性やそれを守ることの意義	私たちと経済—国民の生活と政府の役割 ○消費者の保護と国や地方公共団体の役割 ○消費者の自立の支援なども含めた消費者行政
私たちと政治—人間の尊重と日本国憲法の基本的原則 ○法の意義の理解 ○法に基づく政治の大切さについての理解 ○我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われている意義	私たちと政治—民主政治と政治参加 ○多数決の原理と運用 ○法に基づく公正な裁判の保障 ○裁判員制度

①貴校では、平成24年度において、3年生に関し、社会科で、上記の法教育に関する学習指導内容に1学級あたり年間でどれくらい時間をあてましたか。単位時間数でお答えください。（クラスにより異なる場合には、それらの平均値をお答えください。また、複数の領域をまとめて、あるいは他の内容とあわせて1単位時間で実施している場合には、それぞれの領域に費やした概ねの時間を少数にてお答えください。）

学習指導要領での記載内容／取り組み状況	単位時間（年間）
私たちと現代社会—現代社会をとらえる見方や考え方 ○社会生活における物事の決定の仕方 ○きまりの意義 ○対立と合意、効率と公正の理解 ○契約の重要性やそれを守ることの意義	
私たちと経済—国民の生活と政府の役割 ○消費者の保護と国や地方公共団体の役割 ○消費者の自立の支援なども含めた消費者行政	
私たちと政治—人間の尊重と日本国憲法の基本的原則 ○法の意義の理解 ○法に基づく政治の大切さについての理解 ○我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われている意義	
私たちと政治—民主政治と政治参加 ○多数決の原理と運用 ○法に基づく公正な裁判の保障 ○裁判員制度	
社会科合計	

②平成24年度の社会科（3年生）の年間指導計画において、上に示した法教育に関する内容をどの程度充実させましたか。それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

学習指導要領での記載内容／取り組み状況	まったく充実させなかった	あまり充実させなかった	どちらともいえない	いくらか充実させた	とても充実させた
私たちと現代社会—現代社会をとらえる見方や考え方 ○社会生活における物事の決定の仕方 ○きまりの意義 ○対立と合意、効率と公正の理解 ○契約の重要性やそれを守ることの意義	1	2	3	4	5
私たちと経済—国民の生活と政府の役割 ○消費者の保護と国や地方公共団体の役割 ○消費者の自立の支援なども含めた消費者行政	1	2	3	4	5
私たちと政治—人間の尊重と日本国憲法の基本的原則 ○法の意義の理解 ○法に基づく政治の大切さについての理解 ○我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われている意義	1	2	3	4	5
私たちと政治—民主政治と政治参加 ○多数決の原理と運用 ○法に基づく公正な裁判の保障 ○裁判員制度	1	2	3	4	5

③平成 24 年度の社会科（3 年生）における法教育に関する学習について、どのような内容の授業を行いましたか。具体的な実践例などがありましたらお教えてください。なお、上記②で、「1. とても充実させた」と「2. いくらか充実させた」とした場合、どのような点を充実させたかについてもお教えてください。

学習指導要領での記載内容	実施した内容・充実させた内容
私たちと現代社会—現代社会をとらえる見方や考え方 ○社会生活における物事の決定の仕方 ○きまりの意義 ○対立と合意、効率と公正の理解 ○契約の重要性やそれを守ることの意義	
私たちと経済—国民の生活と政府の役割 ○消費者の保護と国や地方公共団体の役割 ○消費者の自立の支援なども含めた消費者行政	
私たちと政治—人間の尊重と日本国憲法の基本的原則 ○法の意義の理解 ○法に基づく政治の大切さについての理解 ○我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われている意義	
私たちと政治—民主政治と政治参加 ○多数決の原理と運用 ○法に基づく公正な裁判の保障 ○裁判員制度	

④平成 24 年度の社会科における法教育に関する学習指導に関し、教科書以外にどのような教材を利用しましたか。それぞれの内容に関して、利用した教材すべてに○をつけてください。

■私たちと現代社会—現代社会をとらえる見方や考え方（「社会生活における物事の決定の仕方」、「きまりの意義」、「対立と合意」、「効率と公正の理解」、「契約の重要性やそれを守ることの意義」）に関して

1. 教科書に即した副教材（資料集、ワーク、プリントなど）	2. 一般書籍・統計資料集・写真集・パンフレットなど
3. 新聞記事など	4. ビデオや DVD などの視聴覚教材
5. 教師が独自に作成したもの	6. その他（具体的に：)
7. 教科書以外の教材は特に利用していない	

■私たちと経済—国民の生活と政府の役割（「消費者の保護と国や地方公共団体の役割」、「消費者の自立の支援なども含めた消費者行政」）に関して

1. 教科書に即した副教材（資料集、ワーク、プリントなど）	2. 一般書籍・統計資料集・写真集・パンフレットなど
3. 新聞記事など	4. ビデオや DVD などの視聴覚教材
5. 教師が独自に作成したもの	6. その他（具体的に：)
7. 教科書以外の教材は特に利用していない	

■私たちと政治—人間の尊重と日本国憲法の基本的原則（「法の意義の理解」、「法に基づく政治の大切さについての理解」、「我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われている意義」）に関して

1. 教科書に即した副教材（資料集、ワーク、プリントなど）	2. 一般書籍・統計資料集・写真集・パンフレットなど
3. 新聞記事など	4. ビデオや DVD などの視聴覚教材
5. 教師が独自に作成したもの	6. その他（具体的に：)
7. 教科書以外の教材は特に利用していない	

■私たちと政治—民主政治と政治参加（「多数決の原理と運用」、「法に基づく公正な裁判の保障」、「裁判員制度」）に関して

1. 教科書に即した副教材（資料集、ワーク、プリントなど）	2. 一般書籍・統計資料集・写真集・パンフレットなど
3. 新聞記事など	4. ビデオや DVD などの視聴覚教材
5. 教師が独自に作成したもの	6. その他（具体的に：)
7. 教科書以外の教材は特に利用していない	

⑤社会科における法教育に関し、ご存知の教材以外に、どのような内容・テーマの教材があるとよいと思いますか。

⑥平成 24 年度に、貴校の社会科の先生方は、校外で行われる法教育に関する教職員研修会等に参加しましたか。

1. 参加した	2. 参加していない
---------	------------

⑦今後、社会科における法教育に関する学習指導を行っていくにあたり、どのような内容・テーマの研修会等があるとよいと思いますか。

(2) 音楽科での学習指導

音楽科における法教育に関する学習指導の状況についてお答えください。

<学習指導要領での記載内容>

表現及び鑑賞 <input type="checkbox"/> 音楽に関する知的財産権に触れる
--

①貴校では、平成 24 年度において、音楽科で、上記の法教育に関する学習指導内容に 1 学級あたり年間でどれくらい時間をあてましたか。第 1 学年、第 2 学年、第 3 学年それぞれについてお答えください。(クラスにより実施時間が異なる場合には、それらの平均値をお答えください。また、他の内容とあわせて 1 単位時間で実施している場合には、法教育に関する内容に費やした概ねの時間を少数にてお答えください。)

学習指導要領での記載内容／取り組み状況	単位時間 (年間)		
	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
表現及び鑑賞 <input type="checkbox"/> 音楽に関する知的財産権に触れる			

②平成 24 年度の音楽科の年間指導計画において、上に示した法教育に関する内容をどの程度充実させましたか。各学年の状況について、それぞれあてはまる番号ひとつに○をつけてください。

学習指導要領での記載内容／取り組み状況		さ	と	い	ど	あ	ま
		した	ても	え	ちら	まり	った
表現及び鑑賞 <input type="checkbox"/> 音楽に関する知的財産権に触れる	第 1 学年	1	2	3	4	5	
	第 2 学年	1	2	3	4	5	
	第 3 学年	1	2	3	4	5	

③平成 24 年度の音楽科における法教育に関する学習について、どのような内容の授業を行いましたか。具体的な実践例などがありましたらお教えてください。なお、上記②で、「1. とても充実させた」と「2. いくらか充実させた」とした場合、どのような点を充実させたかについてもお教えてください。

学習指導要領での記載内容	実施した内容・充実させた内容
表現及び鑑賞 <input type="checkbox"/> 音楽に関する知的財産権に触れる	

④平成 24 年度の音楽科における法教育に関する学習指導に関し、教科書以外にどのような教材を利用しましたか。利用した教材すべてに○をつけてください。

1. 教科書に即した副教材（資料集、ワーク、プリントなど）	2. 一般書籍・統計資料集・写真集・パンフレットなど
3. 新聞記事など	4. ビデオや DVD などの視聴覚教材
5. 教師が独自に作成したもの	6. その他（具体的に： _____）
7. 教科書以外の教材は特に利用していない	

⑤音楽科における法教育に関し、ご存知の教材以外に、どのような内容・テーマの教材があるとよいと思いますか。

⑥平成 24 年度に、貴校の社会科の先生方は、校外で行われる法教育に関する教職員研修会等に参加しましたか。

1. 参加した	2. 参加していない
---------	------------

⑦今後、音楽科における法教育に関する学習指導を行っていくにあたり、どのような内容・テーマの研修会等があるとよいと思いますか。

（3）美術科での学習指導

美術科における法教育に関する学習指導の状況についてお答えください。

<学習指導要領での記載内容>

表現及び鑑賞
○美術に関する知的財産権や肖像権への配慮

①貴校では、平成 24 年度において、美術科で、上記の法教育に関する学習指導内容に 1 学級あたり年間でどれくらい時間をあてましたか。第 1 学年、第 2 学年、第 3 学年それぞれについてお答えください。（クラスにより実施時間が異なる場合には、それらの平均値をお答えください。また、他の内容とあわせて 1 単位時間で実施している場合には、法教育に関する内容に費やした概ねの時間を少数にてお答えください。）

学習指導要領での記載内容／取り組み状況	単位時間（年間）		
	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
表現及び鑑賞 ○美術に関する知的財産権や肖像権への配慮			

②平成 24 年度の美術科の年間指導計画において、上に示した法教育に関する内容をどの程度充実させましたか。各学年の状況について、それぞれあてはまる番号ひとつに○をつけてください。

学習指導要領での記載内容／取り組み状況		とても充実させた	いくらか充実させた	いえない	あまり充実させなかった	まったく充実させなかった
		1	2	3	4	5
表現及び鑑賞 ○美術に関する知的財産権や肖像権への配慮	第 1 学年	1	2	3	4	5
	第 2 学年	1	2	3	4	5
	第 3 学年	1	2	3	4	5

③平成 24 年度の美術科における法教育に関する学習について、どのような内容の授業を行いましたか。具体的な実践例などがありましたらお教えてください。なお、上記②で、「1. とても充実させた」と「2. いくらか充実させた」とした場合、どのような点を充実させたかについてもお教えてください。

学習指導要領での記載内容	実施した内容・充実させた内容
表現及び鑑賞 ○美術に関する知的財産権や肖像権への配慮	

④平成 24 年度の美術科における法教育に関する学習指導に関し、教科書以外にどのような教材を利用しましたか。利用した教材すべてに○をつけてください。

1. 教科書に即した副教材（資料集、ワーク、プリントなど）	2. 一般書籍・統計資料集・写真集・パンフレットなど
3. 新聞記事など	4. ビデオや DVD などの視聴覚教材
5. 教師が独自に作成したもの	6. その他（具体的に： _____）
7. 教科書以外の教材は特に利用していない	

⑤美術科における法教育に関し、ご存知の教材以外に、どのような内容・テーマの教材があるとよいと思いますか。

--

⑥平成 24 年度以降に、貴校の美術科の先生方は、校外で行われる法教育に関する教職員研修会等に参加しましたか。

1. 参加した	2. 参加していない
---------	------------

⑦今後、美術科における法教育に関する学習指導を行っていくにあたり、どのような内容・テーマの研修会等があるとよいと思いますか。

--

(4) 技術・家庭科での学習指導

技術・家庭科における法教育に関する学習指導の状況について、「技術分野」「家庭分野」それぞれについてお答えください。

<学習指導要領での記載内容>

(技術分野) 情報に関する技術—情報通信ネットワークと情報モラル ○知的財産の保護の必要性	(家庭分野) 身近な消費生活と環境—家庭生活と消費 ○消費者の基本的な権利と責任についての理解 ○販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができること
--	---

①貴校では、平成 24 年度において、技術・家庭科で、上記の法教育に関する学習指導内容に 1 学級あたり年間でどれくらい時間をあてましたか。第 1 学年、第 2 学年、第 3 学年それぞれについてお答えください。(クラスにより実施時間が異なる場合には、それらの平均値をお答えください。また、他の内容とあわせて 1 単位時間で実施している場合には、法教育に関する内容に費やした概ねの時間を少数にてお答えください。)

学習指導要領での記載内容／取り組み状況	単位時間 (年間)		
	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
(技術分野) 情報に関する技術—情報通信ネットワークと情報モラル ○知的財産の保護の必要性			
(家庭分野) 身近な消費生活と環境—家庭生活と消費 ○消費者の基本的な権利と責任についての理解 ○販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができること			
技術・家庭科合計			

②平成 24 年度の技術・家庭科の年間指導計画において、上に示した法教育に関する内容をどの程度充実させましたか。各学年の状況について、それぞれあてはまる番号ひとつに○をつけてください。

学習指導要領での記載内容／取り組み状況		とても充実させた	いづらか充実させた	いえな	どちらとも	あまり充実させなかった	まったく充実させなかった
		1	2	3	4	5	
(技術分野) 情報に関する技術—情報通信ネットワークと情報モラル ○知的財産の保護の必要性	第 1 学年	1	2	3	4	5	
	第 2 学年	1	2	3	4	5	
	第 3 学年	1	2	3	4	5	
(家庭分野) 身近な消費生活と環境—家庭生活と消費 ○消費者の基本的な権利と責任についての理解 ○販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができること	第 1 学年	1	2	3	4	5	
	第 2 学年	1	2	3	4	5	
	第 3 学年	1	2	3	4	5	

③平成 24 年度の技術・家庭科における法教育に関する学習について、どのような内容の授業を行いましたか。具体的な実践例などがありましたらお教えください。なお、上記②で、「1. とても充実させた」と「2. いづらか充実させた」とした場合、どのような点を充実させたかについてもお教えください。

学習指導要領での記載内容	実施した内容・充実させた内容
(技術分野) 情報に関する技術—情報通信ネットワークと情報モラル ○知的財産の保護の必要性	
(家庭分野) 身近な消費生活と環境—家庭生活と消費 ○消費者の基本的な権利と責任についての理解 ○販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができること	

④平成 24 年度の技術・家庭科における法教育に関する学習指導に関し、教科書以外にどのような教材を利用しましたか。それぞれに関し、利用した教材すべてに○をつけてください。

■（技術分野）情報に関する技術—情報通信ネットワークと情報モラル（「知的財産の保護の必要性」）に関して

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 教科書に即した副教材（資料集、ワーク、プリントなど） | 2. 一般書籍・統計資料集・写真集・パンフレットなど |
| 3. 新聞記事など | 4. ビデオや DVD などの視聴覚教材 |
| 5. 教師が独自に作成したもの | 6. その他（具体的に： _____） |
| 7. 教科書以外の教材は特に利用していない | |

■（家庭分野）身近な消費生活と環境—家庭生活と消費（「消費者の基本的な権利と責任についての理解」、「販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができること」）に関して

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 教科書に即した副教材（資料集、ワーク、プリントなど） | 2. 一般書籍・統計資料集・写真集・パンフレットなど |
| 3. 新聞記事など | 4. ビデオや DVD などの視聴覚教材 |
| 5. 教師が独自に作成したもの | 6. その他（具体的に： _____） |
| 7. 教科書以外の教材は特に利用していない | |

⑤技術・家庭科における法教育に関し、ご存知の教材以外に、どのような内容・テーマの教材があるとよいと思いますか。

（技術分野）

（家庭分野）

--	--

--	--

⑥平成 24 年度に、貴校の技術・家庭科の先生方は、校外で行われる法教育に関する教職員研修会等に参加しましたか。

（技術分野）

- | | |
|---------|------------|
| 1. 参加した | 2. 参加していない |
|---------|------------|

（家庭分野）

- | | |
|---------|------------|
| 1. 参加した | 2. 参加していない |
|---------|------------|

⑦今後、技術・家庭科における法教育に関する学習指導を行っていくにあたり、どのような内容・テーマの研修会等があるとよいと思いますか。

（技術分野）

（家庭分野）

--	--

--	--

(5) 道徳での学習指導

道徳での法教育に関する学習指導の状況についてお答えください。

<学習指導要領での記載内容>

主として集団や社会とのかかわりに関すること ○法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努めること
--

- ①貴校では、平成 24 年度において、道徳で、上記の法教育に関する学習指導内容に 1 学級あたり年間でどれくらい時間をあてましたか。第 1 学年、第 2 学年、第 3 学年それぞれについてお答えください。(クラスにより実施時間が異なる場合には、それらの平均値をお答えください。また、他の内容とあわせて 1 単位時間で実施している場合には、法教育に関する内容に費やした概ねの時間を少数にてお答えください。)

学習指導要領での記載内容／取り組み状況	単位時間 (年間)		
	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
主として集団や社会とのかかわりに関すること ○法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努めること			

- ②平成 24 年度の道徳の年間指導計画において、上に示した法教育に関する内容をどの程度充実させましたか。各学年の状況について、それぞれあてはまる番号ひとつに○をつけてください。

学習指導要領での記載内容／取り組み状況		とても充実させた	いくらか充実させた	いえない	どちらとも	あまり充実させなかった	まったく充実させなかった
		主として集団や社会とのかかわりに関すること ○法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努めること	第 1 学年	1	2	3	4
	第 2 学年	1	2	3	4	5	
	第 3 学年	1	2	3	4	5	

- ③平成 24 年度の道徳における法教育に関する学習について、どのような内容の授業を行いましたか。具体的な実践例などがありましたらお教えてください。なお、上記②で、「1. とても充実させた」と「2. いくらか充実させた」とした場合、どのような点を充実させたかについてもお教えてください。

学習指導要領での記載内容	実施した内容・充実させた内容
主として集団や社会とのかかわりに関すること ○法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努めること	

- ④平成 24 年度の道徳における法教育に関する学習指導に関し、教科書以外にどのような教材を利用しましたか。利用した教材すべてに○をつけてください。

1. 副教材 (資料集、ワーク、プリントなど) 3. 新聞記事など 5. 教師が独自に作成したもの 7. 教科書以外の教材は特に利用していない	2. 一般書籍・統計資料集・写真集・パンフレットなど 4. ビデオや DVD などの視聴覚教材 6. その他 (具体的に:)
--	---

- ⑤道徳における法教育に関する学習指導に関し、ご存知の教材以外に、どのような内容・テーマの教材があると思いますか。

--

(6) 特別活動での学習指導

特別活動での法教育に関する学習指導の状況についてお答えください。

<学習指導要領での記載内容>

学級活動及び生徒会活動 ○よりよい生活を築くために自分たちできまりをつくって守る活動などを充実するよう工夫する
--

- ①貴校では、平成 24 年度において、特別活動で、上記の法教育に関する学習指導内容に 1 学級あたり年間でどれくらい時間をあてましたか。第 1 学年、第 2 学年、第 3 学年それぞれについてお答えください。(クラスにより実施時間が異なる場合には、それらの平均値をお答えください。また、他の内容とあわせて 1 単位時間で実施している場合には、法教育に関する内容に費やした概ねの時間を少数にてお答えください。)

学習指導要領での記載内容／取り組み状況	単位時間 (年間)		
	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
学級活動及び生徒会活動 ○よりよい生活を築くために自分たちできまりをつくって守る活動などを充実するよう工夫する			

- ②平成 24 年度の特別活動の年間指導計画において、上に示した法教育に関する内容をどの程度充実させましたか。各学年の状況について、それぞれあてはまる番号ひとつに○をつけてください。

学習指導要領での記載内容／取り組み状況		さ	さ	い	ど	あ	ま
		とも	いく	え	ちら	まり	ま
		させ	らか	ない	とも	な	た
		た	か			か	た
		充	充			充	充
		実	実			実	実
学級活動及び生徒会活動 ○よりよい生活を築くために自分たちできまりをつくって守る活動などを充実するよう工夫する	第 1 学年	1	2	3	4	5	
	第 2 学年	1	2	3	4	5	
	第 3 学年	1	2	3	4	5	

- ③平成 24 年度の特別活動における法教育に関する学習について、どのような内容の授業を行いましたか。具体的な実践例などがありましたらお教えてください。なお、上記②で、「1. とても充実させた」と「2. いくらか充実させた」とした場合、どのような点を充実させたかについてもお教えてください。

学習指導要領での記載内容	実施した内容・充実させた内容
学級活動及び生徒会活動 ○よりよい生活を築くために自分たちできまりをつくって守る活動などを充実するよう工夫する	

- ④平成 24 年度の特別活動における法教育に関する学習指導に関し、教科書以外にどのような教材を利用しましたか。利用した教材すべてに○をつけてください。

1. 副教材 (資料集、ワーク、プリントなど) 3. 新聞記事など 5. 教師が独自に作成したもの 7. 教科書以外の教材は特に利用していない	2. 一般書籍・統計資料集・写真集・パンフレットなど 4. ビデオや DVD などの視聴覚教材 6. その他 (具体的に:)
--	---

- ⑤特別活動における法教育に関する学習指導に関し、ご存知の教材以外に、どのような内容・テーマの教材があるとよいと思いますか。

--

(7) 総合的な学習の時間など、その他の時間での学習指導

- ①貴校では、平成 24 年度、総合的な学習の時間などにおいて、その他法教育に関する取り組みに 1 学級あたり年間でどれくらい時間をあてましたか。第 1 学年、第 2 学年、第 3 学年それぞれについてお答えください。(クラスにより実施時間が異なる場合には、それらの平均値をお答えください。また、他の内容とあわせて 1 単位時間で実施している場合には、法教育に関する内容に費やした概ねの時間を少数にてお答えください。)

	単位時間 (年間)		
	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
総合的な学習の時間など、その他の時間			

- ②平成 24 年度の年間指導計画において、総合的な学習の時間などにおける法教育に関する取り組みをどの程度充実させましたか。各学年の状況について、それぞれあてはまる番号ひとつに○をつけてください。

学習指導要領での記載内容／取り組み状況		とても充実させた	いくらか充実させた	いえない	どちらとも	あまり充実させなかった	まったく充実させなかった
		総合的な学習の時間など、その他の時間	第 1 学年	1	2	3	4
	第 2 学年	1	2	3	4	5	
	第 3 学年	1	2	3	4	5	

- ③平成 24 年度の総合的な学習の時間などにおける法教育に関する学習について、どのような内容の授業を行いましたか。具体的な実践例などがありましたらお教えてください。なお、上記②で、「1. とても充実させた」と「2. いくらか充実させた」とした場合、どのような点を充実させたかについてもお教えてください。

学習指導要領での記載内容	実施した内容・充実させた内容
総合的な学習の時間など、その他の時間	

- ④平成 24 年度の総合的な学習の時間などにおける法教育に関する学習指導に関し、教科書以外にどのような教材を利用しましたか。利用した教材すべてに○をつけてください。

1. 副教材 (資料集、ワーク、プリントなど)	2. 一般書籍・統計資料集・写真集・パンフレットなど
3. 新聞記事など	4. ビデオや DVD などの視聴覚教材
5. 教師が独自に作成したもの	6. その他 (具体的に: _____)
7. 教科書以外の教材は特に利用していない	

- ⑤総合的な学習の時間などで法教育に関する学習指導を行うにあたり、ご存知の教材以外に、どのような内容・テーマの教材があるとよいと思いますか。

--

(3) 法律家等や関係各機関と連携した内容はどのようなものでしたか。内容別に、連携した先についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

連携した内容／連携先	裁判所 (裁判官など)	法務省や検察庁 (検察官など)	弁護士会 (弁護士)	司法書士会 (司法書士)	大学の教員	税務署 (税務署職員)	税理士会 (税理士)	警察署 (警察官)	その他
A)教材準備や授業案の作成	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9
B)教員と法律家等との協同授業	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8	B9
C)法律家等による出前授業	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9
D)裁判傍聴や関連施設の見学	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7	D8	D9
E)授業後の助言	E1	E2	E3	E4	E5	E6	E7	E8	E9
F)法教育の理解を深めるための教員研修	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9
G)その他(具体的に：)	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9

(4) 法律家等や関係各機関と連携したことにより、学習指導内容が充実されましたか。あてはまる番号ひとつに○をつけてください

1. とても充実した	2. まあ充実した	3. どちらともいえない
4. あまり充実しなかった	5. まったく充実しなかった	6. わからない

(5) 上記(4)について、なぜそのようにお考えか、理由についてお教えてください。なお、「充実した」とお答えの場合には、特にどのような連携が効果的であったのかについてもお教えてください。

⇒つづいて、3.(6)～3.(7)をとばし、3.(8)以降にお答えください

(6) 上記3.(1)で「10. 連携はしていない」とお答えの方におたずねします。今後、何らかの形で法律家等や関係各機関と連携して法教育を行う予定(希望)はありますか。あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

1. ある	⇒3.(8)にお答えください
2. ない	⇒3.(7)にお答えください
3. 未定	⇒3.(7)にお答えください

(7) 上記3.(6)で「2. ない」「3. 未定」とお答えの場合、その理由についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 法律家等と連携しなくても法教育に取り組んでいけると考えるから
2. 連携先を見つける方法がよくわからないから
3. どのような連携が可能なのかよくわからないから
4. 必要となる予算が十分に確保できないから
5. 学校として、法律家等と連携した取り組みを行うだけの余裕がないから
6. 以前に連携を試みたが、うまくいかなかったから
7. その他()

⇒3.(7)にご回答の方は、つづいて3.(9)にお答えください

(8) 法律家等や関係各機関との連携に関し、現状について課題と感じていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 連携先に関する情報をもっと充実させてほしい
2. どのような連携が可能なのかもっと知りたい
3. どれくらい費用がかかるものなのかあらかじめ情報を知りたい
4. 出前授業の内容をもっと充実させてほしい
5. 教員が参加できる研修会等をもっと充実してほしい
6. 他の学校での実践事例などをもっと知りたい
7. その他 ()
8. 特に課題と感じていることはない

(9) その他、法務省が法律家等や関係各機関との連携に関する支援を行っていくにあたり、ご意見・ご要望等がありましたらご記入ください。

4. 教材使用の状況

(1) 貴校では、これまで（平成 24 年度以前も含む）に、法務省が作成した以下のような教材を利用したことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 「ルールづくり」に関する教材 | 2. 「私法と消費者保護」に関する教材 |
| 3. 「憲法の意義」に関する教材 | 4. 「司法」に関する教材 |
| 5. 「裁判員制度」に関する教材 | 6. 上記の教材は使用したことがない |
| 7. わからない | |

⇒「6. 使用したことがない」「7. わからない」とご回答の方は、4. (2)～4. (3)をとばし、4. (4)以降にお答えください

(2) 教材により、学習指導内容が充実されましたか。あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. とても充実した | 2. まあ充実した | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり充実しなかった | 5. まったく充実しなかった | 6. わからない |

(3) 上記(2)について、なぜそのようにお考えか、理由についてお教えてください。

(4) 貴校では、これまで（平成 24 年度以前も含む）に、裁判所や弁護士・弁護士会等、法律家や関係各機関が作成した法教育に関する教材を使用したことがありますか。あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|--------------|----------|
| 1. 使用したことがある | 2. 使用したことはない | 3. わからない |
|--------------|--------------|----------|

(5) 貴校では、これまで（平成 24 年度以前も含む）に、法教育フォーラムがウェブサイト（教材倉庫）で提供する法教育に関する各種の教材を使用したことがありますか。あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|--------------|----------|
| 1. 使用したことがある | 2. 使用したことはない | 3. わからない |
|--------------|--------------|----------|

(6) 法教育に関する教材に関し、現状について課題と感じていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. どのような教材があるのかもっと知りたい
2. 手軽に教材が入手できるようにしてほしい
3. 教材の種類をもっと増やしてほしい
4. 教材の内容をもっと充実してほしい
5. 他の学校での実践事例などをもっと知りたい
6. その他 ()
7. 特に課題と感じていることはない

(7) その他、法務省が法教育に関する教材の作成・提供を行っていくにあたり、ご意見・ご要望等がありましたらご記入ください。

5. 教職員向け研修会の状況

(1) 貴校では、これまで（平成 24 年度以降）に、校内で法教育に関する教職員の研修会・勉強会を開催しましたか。あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

1. 開催したことがある ⇒ (2) へ
2. 開催したことはない ⇒ (3) へ

(2) 上記(1)で「1. 開催したことがある」とお答えの場合、現状について課題と感じていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 研修会・勉強会開催の回数・頻度をもっと多くしたい
2. 内容面での充実をもっと図っていききたい
3. 関わりを持つ教職員をもっと増やしていきたい
4. その他 ()
5. 特に課題と感じることはない

⇒つづいて、5. (4) にお答えください

(3) 上記(1)で「2. 開催したことはない」とお答えの場合、その理由についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 研修会・勉強会等を開催しなくても法教育に取り組んでいけると考えるから
2. 学校外で開催される研修会等でまかなえているから
3. どのように研修会・勉強会等を行えばよいかよくわからないから
4. 研修会・勉強会等を開催する時間的余裕がないから
5. その他 ()

⇒つづいて、5. (4) にお答えください

(4) 貴校では、これまで（平成 24 年度以降）に、学校外で行われる法教育に関する教職員研修会等に、教職員を派遣したことがありますか。

1. 派遣したことがある ⇒ (5) へ

2. 派遣したことはない ⇒ (6) へ

(5) 上記(4)で「1. 派遣したことがある」とお答えの場合、現状について課題と感じていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 研修会等の開催状況に関する情報をもっと増やしてほしい

2. 研修会等の回数・頻度をもっと多くしてほしい

3. 内容面での充実をもっと図ってほしい

4. 関わりを持つ教職員をもっと増やしていきたい

5. その他 ()

6. 特に課題と感じることはない

⇒つづいて、5.(7)にお答えください

(6) 上記(4)で「2. 派遣したことはない」とお答えの場合、その理由についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 研修会等に参加しなくても法教育に取り組んでいけると考えるから

2. 学校内で開催している研修会等でまかなえているから

3. どのような研修会等があるのかよくわからないから

4. 役に立つと思われる研修会等が開催されていないから

5. 費用がかかるから

6. 教職員に研修会に参加する時間的余裕がないから

7. その他 ()

⇒つづいて、5.(7)にお答えください

(7) その他、法務省が法教育に関する教職員の研修会等の支援を行っていくにあたり、ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

6. 法教育推進に向けた取り組み全般へのご意見・ご要望

(1) 貴校における法教育の取り組み状況全般について、現状をどのように考えているかお教えてください。

1. とても充実している

2. まあ充実している

3. どちらともいえない

4. あまり充実していない

5. まったく充実していない

(2) 法務省では、今後さらなる法教育の充実に向けて取り組んでいく予定です。中学校の現場からみて、法教育に対するご意見・ご要望があればご自由にお書きください。

調査は以上で終了です。返信用封筒に入れ、期限までにご投函ください。ご協力ありがとうございました。